

野地博行 履歴書



1. 名前 野地 博行 (のじ ひろゆき) 1969 年生
2. 現職 東京大学工学研究科応用化学専攻教授
3. 学歴
 - 昭和 63 年 (1988) 年 3 月 埼玉県立春日部高校卒業
 - 平成元年(1989) 4 月 東京工業大学一類 (理学部) 入学
 - 平成 5(1993)年 3 月 東京工業大学理学部卒業
 - 平成 7(1995)年 3 月 東京工業大学生命理工学研究科修士課程修了
 - 平成 9(1997)年 12 月 東京工業大学総合理工学研究科博士課程修了 博士 (理学)
4. 職歴
 - 科学技術振興事業団 CREST「生命活動のプログラム」チーム 13 博士研究員(1998 年 1 月～2000 年 9 月)
 - 科学技術振興事業団 さきがけ研究員 (「組織化と機能」) (2000 年 10 月～2001 年 9 月)
 - 東京大学 生産技術研究所 助教授(2001 年 10 月～2005 年 3 月)
 - 大阪大学 産業科学研究所 教授(2005 年 4 月～2010 年 6 月)
 - 東京大学 工学系研究科 教授(2010 年 7 月～現在)
5. 研究分野
 - 1 分子生物物理学
 - ナノバイオ計測
 - 生体エネルギー論

6. 業績; 英文原著論文(総説を含まない); 110 報、総引用数; 6943、H-index 38 (Scopus 2015/06/23)

- 合成人工分子機械の 1 分子計測・操作技術の開発 (*AngewChem* 2014)
- 脂質二重膜チャンバアレイを用いた 1 分子膜輸送体計測 (*Nature Communication* 2014)
- ATP 合成酵素のプロトン駆動回転の 1 分子計測 (*Nature Communication* n 2013)
- F1-ATPase の速度定数・平衡定数を回転依存性の解明 (*Nature Chemical Biology* 2012)
- F₁-ATPase のトルク発生ユニットの協同的構造変化の 1 分子計測 (*Science* 2011)
- 超並列型微小溶液チャンバの開発と、1 分子 ELISA 技術の開発 (*Lab on a chip* 2010, *Lab on a chip* 2011)
- FRET 型 ATP センサーの開発と、これを用いた細胞内 ATP のダイナミクスイメージング(*PNAS* 2010)
- F₁-ATPase の 1 分子反応効率計測 (*Nature* 2004, *Nature* 2005)
- 超微小溶液アレイを用いた 1 分子酵素アッセイ法の開発 (*Nature Biotechnology* 2005)
- F₁-ATPase のステップ回転の発見とその解析 (*Cell* 1998, *Nature* 2001)
- F₁-ATPase の回転の実証 (*Nature* 1997)

7. 受賞暦 (学術賞のみ、研究助成金等は含まない)

- 読売ゴールドメダル、読売新聞 (2015 年)
- 中谷奨励賞、中谷医工計測研究財団(2015 年)
- 井上学術賞、井上財団 (2013 年)
- 山崎貞一賞、材料科学振興財団(2013 年)
- 日本学術振興会賞 (2005 年)
- 手島賞、手島基金 (1999 年)
- Grand Prize, Amersham Pharmacia Biotech & Science Prize for Young Scientists (1998 年)

8. 国際会議企画 (組織委員長のみ)

- Tokyo ATPase Workshop, Tokyo (Japan), 2-3 June 2014
- 10th Sanken International Symposium on Nanoscience and Nanotechnology 2006, Osaka, 2006/9/19-20
- The 17th CDB Symposium “Towards Synthesis of Cell”, Kobe 2008/10/14-15
- International Symposium of Post-Silicon Materials and Devices Research Alliance Project, Osaka, 2009/9/5-6
- International Symposium “Innovative Nanoscience of Supermolecular Motor Proteins working in Biomembranes”, Kyoto, 2009/9/7-9

9. 研究プロジェクト（代表のみ）

- CREST 「生体分子 1 分子デジタル計数デバイスの開発」、研究代表、JST (2011-16)
- 特定領域研究「膜超分子モーターの革新的ナノサイエンス」、領域代表、文部科学省 (2007-2011 年)
- Brain 「膜タンパク質のナノバイオロジー」、研究代表、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 (2002-2007 年)
- PRESTO 「生体膜機能するプロトン駆動のナノマシン」、JST (2000-2003)

10. その他活動（学術誌、学会）

- 学術誌
 - ◇ Editorial Advisory Board of Journal ‘Biophysical Reviews’, International Union of Pure and Applied Biophysics, 2015-present (2009-現在)
 - ◇ Editorial Advisory Board of Journal ‘Protein Science’, the Protein Society (USA), 2009-present (2009-現在)
 - ◇ Editorial Board of Journal ‘Biophysical Journal’, the Biophysical Society (USA), 2013-present (2013-現在)
 - ◇ Editorial Board of Journal ‘Biophysics’, the Biophysical Society of Japan (Japan), 2013-present (2013-現在)
- 学会運営
 - ◇ 国際生物物理連合 理事 (IUPAB) (2014-現在)
 - ◇ アジア生物物理連合 理事 (ABA) (2013-現在)
 - ◇ Protein Society (US) 評議員 (councilor) (2014-現在)
 - ◇ 日本学術会議 連携会員 (生物物理分科会) (2012-現在)
 - ◇ 日本生物物理学会 理事 (2006-2007, 2010-2011, 2015-現在)
 - ◇ 日本蛋白質科学会 理事 (2006-2007, 2014-現在)
 - ◇ 「細胞を創る」会 会長 (2011 年度)
 - ◇ 電気学会 E 部門バイオとマイクロシステム研究会 副委員長 (2006-2013)
- その他
 - ◇ 内閣府総合科学技術会議、ナノバイオタスクフォース委員 (2008-2009)
 - ◇ さきがけ研究アドバイザー「統合 1 細胞機能のための革新的技術基盤」、科学技術振興機構 (2014-現在)
 - ◇ さきがけ研究アドバイザー「細胞機能の構成的理解と制御」、科学技術振興機構 (2011-現在)
 - ◇ さきがけ研究アドバイザー「表面の構造と制御」、科学技術振興機構 (2006-2010)